

平成 25 年 7 月 25 日
本 部 事 務 局

2021 年ワールドマスターズゲームズの招致について

<協議・確認事項>

1 関西版マスターズの検討について

*6 月 29 日 連合委員会の際に提案のあった関西版マスターズについて、平成 26 年度創設をめざし検討を進める。

2 ワールドマスターズゲームズの招致について

(1) 開催提案書草稿(draft)案について

*別添 1 のとおり、草稿案を作成した。

その際、競技ごとの開催地は特定せず、関西が有する施設情報を広く提供することとした。

了解後は、トリノ視察団訪問に間に合うよう、速やかに IMGA 事務局に提出する。

(2) 広域連合長書簡(案)について

*開催提案書草稿提出の際に、広域連合の現時点での検討状況等を明らかにするために、別添 2 のとおり、広域連合長書簡を提出する。

(3) 当面の進め方について

(当面の想定手順)

7 月 25 日	連合委員会	開催提案書草稿の決定
7 月 31 日-8 月 5 日	トリノ大会視察	競技視察
8 月 9 日	連合議会総務常任委員会	
8 月 29 日	連合委員会	招致決定の協議
	連合議会定例会	
9 月 中	IMGA への正式表明	
10 月頃?	IMGA 査察	

*査察以降に IMGA において正式決定(想定)

1 関西版マスターズの検討について

本格的な高齢社会を迎えるなか、人々が生涯を通じてスポーツに親しみ健康で生きがいのある生活を維持するとともに、スポーツを核とした新しい交流やツーリズムの進展、スポーツ人口の増加等による関連産業の活性化等に資するため、オープン参加型の関西版マスターズスポーツ大会を創設する。

平成26年度中の創設をめざし、今後、WMGのプロジェクトチームにおいて具体的な制度設計を行う。

<関西版マスターズの特徴>

- ア 競技志向の高いスポーツ愛好家の参加を想定する。
- イ 原則として30歳以上の者を対象とする。(WMGに準拠)
- ウ 選考会を経ずに、原則として誰でも自由に参加できる。
- エ 居住・在勤等要件は設けず、国内外から広く参加できる。

2 ワールドマスターズゲームズの招致について

(1) 開催提案書草稿(draft)案について

別添1のとおり

(2) 広域連合長書簡案(別添2のとおり)

(基本スタンス・書簡要旨)

①基本は、ウェルカムであること

多くのスポーツ施設、良質な宿泊施設、利用しやすい交通機関網が整っている関西でWMGを開催することは意義深いもの。このため、関西招致について検討作業を進めている。

②提出した開催提案書草稿は、最終的な提案書ではないこと

今回提出する草稿は、最終的な提案書ではない。今後、最終的な開催提案書を策定するためには、関西としてどのようなことができるか十分に調査をすることと、広域連合委員会での合意と議会の了解が必要。

このため、トリノ大会を視察し関西大会実現に必要な要件を調査する。表敬の際に有益な助言をいただきたい。

③トリノ視察後に最終的に判断し、9月中には回答すること

9月中には、検討結果を伝えられるよう手続きを進める。IMGAと広域連合が関西開催を合意できれば、具体的な開催計画を作成し、示すことを約束する。

(3) 当面の進め方について

①当面のスケジュール

	主要事項	P T、府県市等
7月31日 ～8月5日	○トリノ大会視察 ・IMGA 表敬、広域連合長書簡 伝達 ・競技運営等視察	
8月9日 8月29日	○連合議会総務常任委員会 ○連合委員会 ・視察報告 ・招致決定協議	○府県市から各議会への状況説明 ↓
10月	○連合議会 ○P Tの拡充 ・開催計画の策定 ・組織委員会の設立準備 等	・府県体協、経済界等を追加 ・事務局に専任職員を配置 ・関西版マスターズの検討
10月頃(?) 26年度	○IMGA 査察 ○組織委員会設立	

②トリノ大会の視察

ア 日程

平成25年7月31日(水)～8月5日(月) 6日間

<行程>

7月31日(水)	関西発、トリノ着
8月1日(木)	IMGA 理事会訪問 組織委員会調査 競技・オープニングセレモニー視察 等
2日(金)	
3日(土)	
4日(日)	トリノ発
5日(月)	関西着

イ 視察団の構成

団 長 関西広域連合委員(鳥取県知事) 平井 伸治
同 関西広域連合委員(京都市長) 門川 大作
団 員 関西広域連合本部事務局長、府県市担当職員等

ウ 主な視察等事項

- ・IMGA 会長等表敬
- ・トリノ大会運営状況調査(事業規模、組織体制、地元行政の関わり、課題等)
- ・関西が招致する場合の要件(開催契約までの具体的な手順とスケジュール、権利金の額と支払い方法、その他開催契約に伴う権利義務関係など)

<IMGA について>

*6月29日連合委員会の際に指摘された IMGA に関する事項について、長ヶ原神戸大学大学院准教授、高橋近畿大学教授に確認した。

1 IMGA について

- IMGA は、国際競技団体の協会や各国のオリンピック委員会等と同様に、国際オリンピック委員会に認定された団体の一つである。
- 国際パラリンピック委員会のパートナー団体であり、国際スポーツ連盟 (Sport Accord) の加盟団体である。
- 理事メンバーには多くの IOC メンバーが参加している。

2 権利金について

- 国際スポーツ競技団体は、特定の国に属するものでない半面、特定の国から多くの支援を望めない。主な収入は、企業スポンサーによる協賛金、大会開催時の権利金、放映権の販売、マーケティング権の販売などに限られる。
- 権利金は、IMGA の国際大会を開催するという特定に権利を得るための、いわば特許料である。
- 大会開催経費に充当されるものではなく、事務局運営、旅費、会議費等 IMGA の運営経費に充てられる。IOC への納付もあると聞いている。
- 放映権やスポンサー収入の大きいオリンピックの場合は権利金はないが、例えば2019年に日本で開催されるラグビーのワールドカップの権利金は130億円に上る。
- 2002年メルボルン大会の際の権利金は130万米ドル、2005年エドモントン大会120万米ドル (準備期間が短いため)、2009年シドニー大会200万米ドルとなっており、2013年トリノ大会は500万ユーロ、2017年オークランド大会から600万ユーロとなっている。2021年大会もオークランド大会のガイドラインに準拠している。
- 権利金上昇の理由は、米ドルの価値の低下のほか、回を重ねるごとに IMGA のステータスが上がってきたことの表れと言える。理事会に IOC メンバーが増え会議なども増えたことにより運営費が上昇していることも理由であると思われる。

<招致する場合に考えられる主な手順 ('17年大会立候補ガイドラインから想定) >

正式立候補・立候補手数料の支払い



地元当局の財政保証、全国競技連盟の支援保証の提出



IMGA による現地査察



関西開催の正式決定



開催都市契約書への調印



権利金 (頭金) 支払い

2013年7月25日

国際マスターズゲームズ協会

Kai Holm 会長

冒頭にあたり、ワールドマスターズゲームズの発展に向けた会長並びに貴協会のご努力に心から敬意を表します。

さて、このたび我々の開催提案書草稿を提出するにあたり、関西広域連合の現時点での検討状況と今後の予定をお伝えするために、本書をお届けします。

関西広域連合は、日本における関西地域の7府県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、鳥取県)と、その府県内4都市(京都市、大阪市、堺市、神戸市)により構成された特別地方公共団体であり、人口2,090万人、面積31,000 km²に及ぶ圏域には、国際的なスポーツ大会に利用可能な数多くの競技施設や様々な価格帯の良質な宿泊施設、安全で利用しやすい交通機関網などが十分に整っています。この関西地域で、生涯スポーツの世界最高峰の大会であるワールドマスターズゲームズを開催することは、大変意義深いことと考えます。このため、現在、関西招致に関する検討作業を進めています。

今回、開催提案書草稿を提出することをうれしく思います。ただ、このたび提出する開催提案書草稿は、関西広域連合としての最終的な提案書ではありません。今後、最終的な開催提案書を策定するためには、私たちは二つの手順を経なければなりません。一つは、日本で初めてのワールドマスターズゲームズであることから、関西としてどのようなことができるかを十分に調査する必要があることです。二つめとして、関西広域連合委員会での合意を得て、議会の了解を得なければなりません。このため、8月に開催されるトリノ大会に、関西広域連合委員会から平井委員(鳥取県知事)と門川委員(京都市長)を団長とする視察団を派遣し、関西大会の実現に必要な諸要件を調査します。そのためにも、視察団が貴協会を表敬させていただく機会に、貴職からも有益な助言をいただければ幸いです。

私は、9月中にはその結果を貴職にお伝えできるよう、必要な手続きを迅速に進めます。そして、2021年大会の関西開催について貴協会と関西広域連合とが合意することができれば、アジア初となる記念すべきワールドマスターズゲームズにふさわしい、具体的な開催計画を作成し、お示しすることをお約束します。

終わりに、2021 ワールドマスターズゲームズの関西開催は私にとっても大きな希望です。そのためにも、今後のより良いパートナーシップに向け、貴協会からのさらなるご支援を宜しくお願い致します。

ワールドマスターズゲームズのさらなる発展を祈願して。

関西広域連合連合長
兵庫県知事
井戸敏三

July 25, 2013

Honorable Mr. Kai Holm
President of the International Masters Games Association

Dear President Kai Holm,

I would like to express my deepest respect for your hard work in developing the World Masters Games Association.

I am writing this letter to explain the progress of the discussions being held within the Union of Kansai Governments at this moment and to inform you of our general schedule, while at the same time submitting a draft of our Games proposal.

The Union of Kansai Governments is a special local public entity made up of seven prefectures located in the Kansai region of Japan (Shiga Prefecture, Kyoto Prefecture, Osaka Prefecture, Hyogo Prefecture, Wakayama Prefecture, Tokushima Prefecture and Tottori Prefecture) and four municipalities within those prefectures (the cities of Kyoto, Osaka, Sakai and Kobe) with a total population of approximately 20.9 million people and an area of 31,000 square kilometers. The Kansai region has many top-class athletic facilities and a wide price range of hotels and accommodation. Of course, we are also known for our safe and convenient transportation network. I think that hosting the World Masters Games, the world's top-ranking lifelong sports event, in Kansai, would be of the utmost significance to our region and so we are trying hard to proceed with our considerations so that we may host the World Masters Games in Kansai, Japan.

I am delighted to submit our draft Games proposal. However, please be aware that this is only a draft and does not represent our final proposal. In order to make the final proposal, we must take two further actions. First, we still need to duly explore what other options are available for Kansai to host the Games since it is going to be the very first one in Japan. Second, we must obtain an absolute agreement from the Union of Kansai Governments Commissioners followed by the approval by the Assembly of the Union of Kansai Governments.

To this end, Commissioner Hirai (Governor of Tottori Prefecture) and Commissioner Kadokawa (Mayor of the City of Kyoto) will lead an observation team to the Torino 2013 Masters Games in August to further learn more about what we need to make the Kansai Games come true. We would greatly appreciate your valuable advice when our team makes their courtesy visit to your association.

I will work hard to conduct these procedures promptly so that we will be able to convey our decision to you by the end of this coming September. Then, if hopefully, the day should come when your Association and the Union of Kansai Governments can reach an agreement on the Masters Games 2021 in Kansai, Japan, I promise to present to you a detailed Games proposal which will be perfect for a very memorable first World Masters Games in Asia.

Finally, in closing, I would like to once more express that it is my sincere and earnest hope that the Masters Games 2021 will be held in Kansai, Japan. For the future of a great partnership between us, we appreciate your steadfast support.

In the hope of the continued development of the World Masters Games.

Sincerely yours,

Toshizo Ido
President of the Union of Kansai Governments
Governor of Hyogo Prefecture, Japan